証券投資信託約款変更のお知らせ

このたび弊社では、以下の追加型証券投資信託につきまして、投資信託約款を変更（約款変更）することについて、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を実施いたしますのでお知らせいたします。

1. 対象となる証券投資信託の名称

追加型証券投資信託 グローバル新世代関連株式ファンド
（以下「当ファンド」といいます。）

2. 約款変更の内容

当ファンドの投資ユニバースを“ミレニアルズ投資テーマの関連市場の成長の恩恵を受ける企業”から“新世代投資テーマの関連市場の成長の恩恵を受ける企業”に変更するとともに、信託期間の延長（2046年4月17日まで）を行います。また、少額投資非課税制度（NISA）の特定非課税管理勘定（成長投資枠）（以下「成長投資枠」といいます。）の対象とするために、デリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的の明確化を行います。

3. 約款変更の理由

当ファンドは2016年4月18日に設定され、主としてわが国を含む世界の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行ってまいりました。また、当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、新世代（設定時においてはミレニアルズ）に着目し、ミレニアルズの特徴と関連する投資テーマの市場の成長の恩恵を受ける企業のうち、競争優位性およびその持続可能性、経営陣の質の評価に基づき選定した質の高い銘柄群のなかから、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を中心に投資を行ってまいりました。現状、当ファンドの信託期間は2026年4月17日（以下「償還予定日」といいます。）までとしておりますが、当ファンドの名称として冠している「グローバル新世代」をテーマとする株式の銘柄選定とポートフォリオ構築は、償還予定日以降も引き続き魅力的かつ有効な投資手法であり、投資信託財産の成長に寄与し得るものと考えております。一方で、歳月の経過によって、「ミレニアルズ」よりも新しい世代が「グローバル新世代」の中心的存在になりつつあります。

このような考えに基づき、当ファンドは、信託期間を延長するとともに、今後は投資ユニバースを“ミレニアルズ投資テーマの関連市場の成長の恩恵を受ける企業”に限定せず、各時代における“新世代投資テーマの関連市場の成長の恩恵を受ける企業”として運用を行うことが受益者の利益に資すると考え、投資ユニバースを“新世代投資テーマの関連市場の成長の恩恵を受ける企業”に変更し、ミレニアルズの次世代等も含めた長期的なテーマでの運用とするとともに、信託期間を2046年4月17日までとしたいと考えております。併せて、ファンドの愛称“ミレニアルズ”の削除も行います。

また、2024年1月から開始された少額投資非課税制度（NISA）の成長投資枠については、信託契約期間の定めがないこと又は20年以上の信託契約期間が定められていることが要件の一つであるところ、今回の信託期間の延長によりその要件を充足することになります。当ファンドを成長投資枠の対象とすることも受益者の利益に資すると考え、成

長投資枠の要件の一つであるデリバティブ取引等の利用目的に関する記載についても所要の変更を行います。

上述の運用の基本方針の変更は、重大な約款変更に該当すると考えておりますことから、約款の規定に基づき書面決議の手続きを実施することといたしました。

4. 約款変更までの日程について

- ・ 受益者および受益権口数の確定日 : 2025 年 1 月 21 日
- ・ 書面による議決権行使期限 : 2025 年 2 月 19 日
- ・ 書面決議の日 : 2025 年 2 月 20 日
- ・ 約款変更適用日 : 2025 年 3 月 10 日

5. 書面決議の手続きについて

当ファンドの約款変更に関する手続きは、2025 年 1 月 21 日現在の受益者に対して、書面決議にて賛否を問う方法により行います。

本決議は、当ファンドの議案に議決権を行使することができる受益者の議決権の 3 分の 2 以上の賛成をもって可決されます。その場合、約款変更の届出を行い、2025 年 3 月 10 日より適用します。

なお、当ファンドは、議決権の行使期間中および書面決議後も、通常どおり一部解約のお申し込みを受付けることにより公正な価格が一部解約金として受益者に支払われます。そのため、本議案に反対された受益者が、当ファンドの受託会社に対し、受益権の買取請求を行うことはできません。

以上

2025 年 1 月 21 日

東京都千代田区丸の内一丁目 8 番 2 号
アセットマネジメント One 株式会社